

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00			2.6
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.2</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	住居部分についてはL-45	-	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.3</b>	0.35	<b>1.6</b>	1.00			1.5
<b>2.1 室温制御</b>		<b>1.7</b>	0.50	<b>2.3</b>	0.50			
1 室温		1.0	0.38	1.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	平均評価 4.1	4.1	0.25	4.1	0.43			
4 ゾーン別制御性		1.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.8</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			3.2
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>2.4</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			
1 昼光率	居室部 U=2.25より	2.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	住居部 庇、およびカーテンにてグレア対策	3.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>2.8</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			3.1
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	すべてF を使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>2.0</b>	0.30	<b>2.3</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	1.00			3.0
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	3.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.31	-	-			3.0
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.0</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床・・・塩化ビニル 20年 タイルカーペット 20年 内壁・・・石膏ボード+ビニルクロス 20年 天井・・・化粧石膏ボード 30年	5.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	ドレン管:VP 給水管:VP 屋内・外排水管:VP 主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用。	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		3.4	0.19	-	-	
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備	・非常用発電設備を備えている。 ・ビット内に排水ポンプが設置されている。	4.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備	ビット内排水ポンプの設置 光ケーブル(ナースコール)	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.7	0.29	2.2	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		2.2	0.31	1.4	0.50	
	2 空間の形状・自由さ	建築物全体 壁長さ比率 = 0.257	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性		3.0	0.38	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.17	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.11	-	-	
	6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.9
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制			PAL低減率 (340-282.2)/340=17%	4.1	0.30	-	4.1
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	
3 設備システムの高効率化			CEC/AC 1.57 CEC/L 0.41	5.0	0.30	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)			ERR=36.4%	5.0		-	
集合住宅の評価				3.0		-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護				3.4	0.15	-	3.4
1.1 節水			節水型器具採用	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.63	-	3.1
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.21	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.21	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			主としてLGS及びGL工法を採用	4.0	0.25	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	
1 消火剤				-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2 70%	4.2	0.33	-	4.2
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	2.8
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.3	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.33	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.33	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	
2 振動				-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制				3.0	0.40	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たす。 広告照明はなし。	5.0	0.70	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	